

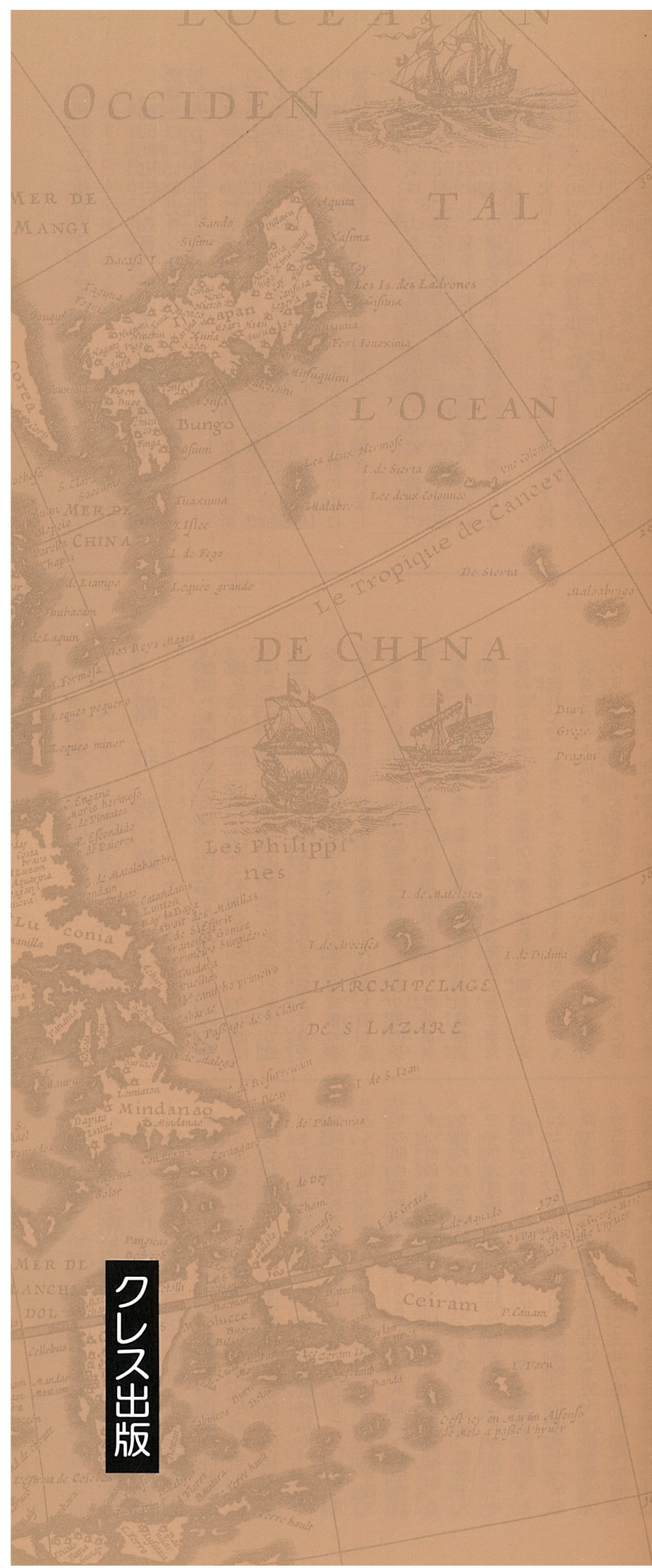
高潮、旱魃、霖雨の記録、
気象災害や漂流漂着の貴重史料集。

気象研究所 監修
荒川秀俊 編

翻刻歴史史料叢書

全6巻

クレス出版



『翻刻歴史史料叢書』は、気象庁監修兼発行、荒川秀俊編著の「気象史料シリーズ」(全六巻、昭和三十六〜三十九年)を復刻刊行するものです。

気象学者であった荒川は、気象台の勤務、気象研究所の所長としての専門の学究生活の傍ら、「気象災害」である高潮・早魃・霖雨・冷涼などの記録、そしてその気象現象によって引き起こされた海難・漂流・漂着・凶作・飢饉などの事件現象の数々を、膨大な史料群の中に渉猟し、分類整理して六編の史料集として編まれました。

六編の内訳は、大きくは高潮・風水害・早魃・霖雨の被害状況を史料に探る自然災害史料三巻と、台風・暴風雨などを原因として発生した日本人の異国漂流、あるいは外国船の日本への漂着を記した漂流記史料三巻よりなっています。

自然災害の史料としては、台風による高潮被害を古代から近世までの百八十八例抽出した「日本高潮史料」。天明二年(一七八二)に始まり七年(一七八七)まで日本全土に亘って飢荒し殆ど完膚なかったと言われる天明の飢饉、さらに天保四年(一八三三)から十年(一八三九)まで七年間に及んだ天保大飢饉などの史料を集めた「近世気象災害志」。長時間にわたってひでりやながあめが続いた結果、人々の生活が圧迫され、不作・飢饉に陥った例を集めた「日本早魃霖雨史料」の三巻であります。

荒川は、郷里福島の先輩である石井研堂の影響もあって、近世日本人の海外漂流記の研究においても高名です。漂流・漂着の事例を多く集めることで航海上の教訓が得られ、気象学的、海洋学的な知見を深める事もできます。興味ある多くの漂流記の忠実な再現を計るため「異国漂流記集」「異国漂流記続集」、有史以来安政開国までの三百三十数件の漂流物語を収録した「日本漂流漂着史料」、以上が漂流記史料三巻です。

◆全巻構成◆

- 1. 日本高潮史料
荒川秀俊・石川祐一・伊藤忠士編
有史以来幕末に至る間に、我が国の各地を襲った一八八件にのぼる高潮についての史料を集録。
2. 異国漂流記集
荒川秀俊編
ジョン万次郎、ジョセフ彦など世間に知られた漂流記をはじめ、十五編の漂流記を収める。

- 3. 日本漂流漂着史料
荒川秀俊編
有史以来安政開国に至る三三二件の史料を集成し、併せて参考記事も掲げている。遣唐使、高僧の渡来、元寇、鉄砲の伝来、無人島や野蛮国・文明国への漂流など。
4. 近世気象災害志
荒川秀俊編
天明の飢饉(三篇)、天保の飢饉(四篇)などの史料を紹介し、安政三年の関東の大風水害をのべた安政風聞集や、海難、火災、救荒書目提要などを収める。

- 5. 日本早魃霖雨史料
荒川秀俊・大隅和雄・田村勝正編
有史以来明治維新までの日本に起こった有名な早魃と霖雨に関する史料集。人類の自然征服史の一断面を知る好史料。
6. 異国漂流記続集
荒川秀俊編

幕府時代から有名だった南海異聞・南瓢記・海外異聞等の刊本をはじめとして、通航一覽続輯の中から興味深い漂流記を選んでいる。

饑年要録

○饑饉ハ異国の説に五穀不登を饑と謂ひ、十穀不登を饉と謂ふ。日本にても此説に本づく成べし。今の世に唱ふる処ハ米穀不熟して万民飢饉に及ぶことを総て飢饉といふ。是人世第一の患にして窮民是に遇ふて命を失ふ者少からず。幾年も続く時ハ国の乱とも成程の事にて此上の災ハ有べからず。是天より人の怠を罰し給ふなり。然るに此患ハ数年遠ざかれバ、人怠り奢に長じ、己がさまじく縦に日を送り年を重ね、財ある者も施すことを思はず、置しき者も業を怠り、飢饉の艱難ハ昔の噂のミに聞て、其時に遇ハズ嘸かし憂き事ならんとハ思へども、其患ひに遇ハざれば、朝にきゞ夕に忘れて昔ハ有りて今ハなき事のやうに思ひ、今にも我身の患へと成べきことハ更々思はず徒に年を経、何の覚悟もなき折に天災来り、五穀実らず食乏しきに至り周章驚き、身の怠りハ顧す、天を恨み時を呵し、昔よりなき事の俄に来りしやうに思ふハ浅ましき次第なり

日本早魃霖雨史料

- 宝永二年(一七〇五) 諸国 早魃
津軽凶歉記録一斑
閏四月二十一日より田植初、二十三日、二十七日雨降候共百余日の早魃続にて三ヶ一損に相成申候、登米郡史
二年、早魃不作、東藩史稿
十一月三日、今茲封内十五万六千石、早損するを幕府に聞す、岡山県苦田郡誌
四月以来降雨少なく挿秧を為す能はず、津山藩主田辺村万福寺、香々美村円通寺、河内村円融寺に祈雨を命じて五月十日降雨、各米十五苞を給ふ、蒲郡町誌
大早魃、領主松平主水義堯(守羨)竹島神社に雨乞の祈願をなし、報賽の爲め法華経を奉る、今年春四月、五月大旱作毛仕付不申候云々、岩手県災異年表
春領内早魃にて農民植付に困難す、閏四月(沢内地方)早魃の部 宝永二年——宝永五年

異国漂流記続集

海外異聞

海外異聞 卷之三

地形

地 形
亞墨利加は五大洲の一にして、日本の正東にあたる。我が奥州の東辺より彼くにの西辺に至る迄、鳥道凡三千里ばかり。地形南北に長く南ハ墨瓦刺泥加の海峡、南極出地五十四度二十分の所より、北ハ歎尊の迫門、北極出地六十三度の所に至る南北の長さ大約三千余里。中間巴那瑪といへる所、幅十五里の地を界として、南北二部に分ち、北を墨是可亞墨利加といひ即北亞墨利、南を孛露亞墨利加といふ。即ち南亞墨利加なり。墨是可ハ即ちメヒコ也。又初太郎が云へ。東西ハ所により広狭等しからず。されども、其広き所ハまた一二百里にいたる。其広大成事、殆ど天下三分の一に當る。北亞墨利加は五つに分れて其一を加傘太といひ、二を比兒及泥亞といひ、三を花地といひ、四を新墨是可といひ、五を墨是可と云ふ。南亞墨利加は七つに分れて、其一ハ的尔刺喜兒麻、其二ハ孛露、其三ハ智里、其四ハ的尔刺墨瓦臘泥加、其五ハ銀河、其六ハ

り。かくいふ我も昔語りにハ聞伝ふれども、身に染むことにあらざれば、人並に怠りて貯へ薄く、腹心を恨しかども、幸に天の助父祖の余慶にて、眷属奴隸の食糧に乏しからねども、恨らくは村里の貧民の飢を救ふことにまかせず。前かどより心掛のとゞかざる事を悔れどもかへらねば、唯後の心得にもなれかしと、聞伝えし事見及ひしこととゞも書つらね置処なり。

飢饉の天災ある事、昔より其数定りなしといへども、凡近くハ四十年遠くハ五六十年にあり。其内二三年四五年の間に二度続くこともまゝ有。予が聞伝へし中古以来の飢饉を尋るに、天文十四乙巳年・同十五丙午年、是を世に巳午の飢饉と呼ぶ。夫より九十六年後、寛永十九壬午年大飢饉とかや。此間に饑すること有やなしや詳ならず。其後三十三年を歴て、延宝三乙卯年。それより僅に六年を歴て天和元辛酉年。其後五十一年を歴て享保十七壬子年なり。又夫より五十一年を歴て天明三癸卯年の飢饉なり。統て三年の後、同六丙午年なり。夫より四十七年を経て、今天保四癸巳年なり。此間の年数総て斯の如し。されハ此患にあひても、人の

- 大早魃、前年来の早魃を申酉の日照りと云ひ伝ふ、宝永三年(一七〇六) 諸国 大旱
高松藩記
三年丙戌、夏大旱、仲多度郡史
大旱、祈雨五日、百余日雨なし、東春日井郡農會史(中央気象台彙報所収)
四月より八月に至るまで降雨なく草木徒て枯る云々、檜年輪調査成績(中央気象台彙報所収)
此年、早魃、宝永四年(一七〇七) 越中 早魃
前田氏家乘
秋、早魃のため米作損害の村々多し、五千八百石を減免し、千九百石を免せらる、檜年輪調査成績(中央気象台彙報所収)
秋、越中早魃、宝永五年(一七〇八) 諸国 大旱
香川県史
六一八月、大旱、

翻刻歴史史料叢書 全6巻 気象研究所 監修 荒井秀俊 編

A 5判 / 上製函入クロス装

2002年8月刊 揃定価33,000円(税別) ISBN4-87733-152-2(セット)

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 1. 日本高潮史料 | 定価 4,000円(税別) ISBN4-87733-153-0 |
| 2. 異国漂流記集 | 定価 4,200円(税別) ISBN4-87733-154-9 |
| 3. 日本漂流漂着史料 | 定価10,200円(税別) ISBN4-87733-155-7 |
| 4. 近世気象災害志 | 定価 3,600円(税別) ISBN4-87733-156-5 |
| 5. 日本早魃霖雨史料 | 定価 6,200円(税別) ISBN4-87733-157-3 |
| 6. 異国漂流記続集 | 定価 4,800円(税別) ISBN4-87733-158-1 |

● クレス出版好評既刊書 ●

日本海防史料叢書

全5巻 住田正一編

徳川幕府の鎖国主義により、海外交通を杜絶し、海事史料の湮滅に力を注いだため、海防史料は数少ないが、江戸時代を中心に貴重史料を集大成。法制史、生活史の文献も含んでいる。

A 5判 / 総2,990頁 / 揃定価50,000円 ISBN4-9063330-10-X

近世社会経済叢書

全6巻 本庄栄治郎・土屋喬雄・中村直勝・黒正巖共編

徳川時代並びに明治初期における社会事情、経済状態、経済思想等に関する文献を輯録。日本各地の産業、風土、風俗、生活に係わる貴重史料をまとめている。

A 5判 / 総3,966頁 / 揃定価66,000円 ISBN4-9063330-19-3

明治大正史

全6巻 朝日新聞社編

I 言論篇(美土路昌一) II 外交篇(永井万助) III 経済篇(牧野輝智) IV 世相篇(柳田国男) V 芸術篇(土岐善麿) VI 政治篇(野村秀雄) 本文に法令・条約・統計や回顧録などを織り込む。

A 5判 / 総2,774頁 / 揃定価48,000円 ISBN4-87733-085-4

明治大正産業史

全4巻 帝国新聞社編

昭和3年に『日本産業史』として上下巻で刊行されたもの。近代日本産業史の「総論」を高橋亀吉が執筆。17業種に及ぶ「各種産業沿革史」は詳細を極める大著

A 5判 / 総3,738頁 / 揃定価80,000円 ISBN4-87733-069-0

引揚援護の記録

全3巻 厚生省編

行政による「引揚げ援護」事業全体を俯瞰でき、また当時の国際関係や日本の植民地支配の現実、そこに生きた人々の生活世界など戦前から戦後の日本という国家の歴史と本質に迫る。

B 5判 / 総1,354頁 / 揃定価45,000円 ISBN4-87733-098-4

日本外交史料集

全3巻 外務省調査部

徳川幕府の時代からワシントン会議に至る日英、日米の関係を膨大な外交文書を基礎に、執務用に編纂した史料。

日英外交史 全2巻 揃定価35,000円 ISBN4-906330-68-1

日米外交史 全1巻 揃定価10,000円 ISBN4-906330-69-X

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋

☎(03)3808-1821 ☎(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版